おはよ

障教組Ｘ展開中　高教組 HP 役立つ情報がいっぱい

兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）
神戸市中央区北長狭通５丁目２－１０
兵庫県高等学校教職員組合会館内
TEL　０７８－３４１－６７４５

全職員版 NO.４　2026.１０

障教組定期総会報告

９月 19 日（土）定期総会を行いました。

わたしたちをとりまく情勢、経過報告（3月拡大執行委員会から今まで、今年度の役員、執行体制について）の後、第１号議案「2026年度方針に基づく活動計画」の説明がありました。

要求運動では、職場要求運動をリードし、賃金権利確定交渉や必要に応じて緊急要求書および加配要求書をあげ、現場における教職員不足の根本的解消また、介助員部との連携などにより少数職種の方の要求の実現にも取り組んでいきます。学習運動では学びの機会を多く提供し、みんなで学ぶ組合・労働運動についての学びの機会を増やしていきます。

交流と仲間を広げる活動では、広報誌「おはよ全職員版」の発行や組合員とのつながりを強めるグループ line もしくは e-mail でつながりを持つことで仲間を増やし、組合を強く大きくする活動に取り組みます。

次世代へのバトンリレーの推進では、各取り組みのマニュアル化と OB 支援により、ひとり一人が主体的に動けるよう、役割分担を行ったり、体制を早めに検討していくことなどの方針が示されました。

グループ討議では、5つのグループに分かれて活動計画や各学校の状況について話をしました。増えた業務分のどこを減らし簡素にするのか。校舎改築を20年待つように言われた。寝ない子の対応をしているので割り振り以上の勤務になる。人手が少ない中で一人でも欠勤があると給食業務が難しくなるなど様々な課題が現在進行中です。様々な様子を聞くことで現状把握もできましたが、みんなで話し合いをすることで勇気や元気をいただくことができます。県の財政が厳しい中で一緒に頑張ろうという気持ちが高まる会となりました。

学習会「よりよい設置基準を求めて」

全教障教部部長の村田信子さんに埼玉で勤務されていた時の活動についてお話ししていただきました。明治に学制が始まった時にお金がかかりすぎたことから制度改革の遅れがあり、１学級の定数が40人から35人になるまでに41年もかかっています。そのような状況下で埼玉座り込みなどの活動を経て、2011年に設置基準の策定に向けての活動が始まり、翌年から署名活動も行うようになりました。請願署名に切り替え、年々紹介議員の数を増やし、2021年には63人にまで拡大し、2020年の10月にようやく国も設置基準の策定に向けて動き出すようになりました。それを受け、設置基準の案を募ったところ1か月で500もの案が集まりました。国からの案も出ましたが、水準が低く、それに対する意見がパブコメで1700も集まったそうです。議員を交えた文部科学省との合同ヒアリングも開かれようやく設置基準の策定を実現することはできました。しかし、1学校の最大定数150人以下や通学時間1時間以内、1クラス担任2名以上など実現できていないこともあり、課題も残っています。

より良い設置基準の実現に向け、これまでの活動に感謝するとともにより良い設置基準の実現に向け、今後も一致団結して取り組みが進むことを願っています。

「よりよい設置基準を求めて」署名への取り組みを各職場で行っています。 ご協力ありがとうございます。

実践レポート学習会　総会の午前中に実施しました。

２つの実践レポートの発表とその学習、ミュージックケア体験を行いました。どちらの発表もすばらしく、新しい知識を得、障害のある子にとって必要なことは何かを考えさせられるものでした。

１つ目、東はりま特別支援学校の石井さんによる、高等部家庭科での実践。自己肯定感を高めつつ、自分の生き方に対する意識を持つための授業。まずは、今まで家族に大切に育てられてきた自分を赤ちゃんの時代から振り返る授業。印象的だったのは、ご自分の妊娠中の写真を掲載されたこと、赤ちゃん人形を使って生徒に実際のお世話をさせたことでした。次に、卒業後への生き方を考えさせる授業。友だちと一緒ではない、自分だけの進路決定。何でも挑戦し、何度でもやり直せる、人生は長いことを伝える。おもしろいのは AI で枠を作り、内容は生徒に合わせて考えた、人生すごろく。家族の為に自分ができることを考える授業。最後に、家事手伝い、掃除、調理など、考えたことを実際に取り組ませることが素晴らしい。生徒に自分で考え取り組む大切さを現実に教える授業展開が素敵でした。

２つ目、姫路聴覚特別支援学校から、寄宿舎での実践。寄宿舎での児童生徒の過ごし方、寄宿舎自治での生徒の取り組み、１年間の寄宿舎での職員による取り組み、寄宿舎での過ごし方で、ゲームしたり、友だちとカフェにいったり、異年齢集団で外遊びしたりなど自由に過ごしていることを知りました。生徒による自治もあり、自分達で舎内でのルールを決めたり、夏祭りなどのイベントを計画したり。職員の方々が季節行事、休校時、長期休みなど、工夫された集団遊び、制作、行事活動など、アイデアがすばらしかったです。寄宿舎ならではの取り組みを知り、学校でも使える教材の工夫があり、何より寄宿舎教員の方々の子ども達に対する想いの深さをたくさん感じることができました。

最後に、東はりまの石井さんによる、ミュージックケア体験。ミュージックケアとは、「だれでも、いつでも、どこでも」を合言葉に、音楽の特性を生かして心身に心地よい刺激を与え、情緒の安定や対人関係の向上を目指すものです。とても勉強になり、元気になりました。残念ながら参加できなかった方も、たくさんの情報と知識を得、その感動をぜひ、次回は一緒に体験しましょう。

特別支援教育の実態に基づく学級編制基準および教職員定数の改善と教職員の確保を求める署名」のお願い

障教組は今年の兵庫県教育委員会への重点要求に「慢性的な教職員不足を改善」を挙げ、その方法として「①国に標準法の改善を求めること②改善されるまで兵庫県独自で加配措置を行うこと」を要求します。この署名は、兵庫県下の特別支援学校の教職員が教職員不足を実感し、切実に教職員定数を見直して教職員を増やしてほしいと願っていることを証明するものになります。兵庫県下２９校の特別支援学校から一筆でも多く署名を集めたいと思っています。10 月 25 日現在 11 校 1078 筆集まっています！！がんばろう。

書写山ハイキング 11月15日(日)

秋の絶景を見に行こう!!　　9:50～14:30

ロープウェイで山の上、山頂まで歩きます。

どなたでも参加 OK!お子さんも。詳細はお近くの組合員まで。または高教組 HP 参照。

https://hyogo-kokyoso.com/

卓球バレー交流会 12月13日(日)

於：高教組会館（JR 山電元町駅5分）15:00～16:30

今ひそかに熱い?!ユニバーサルスポーツ卓球バレーにチャレンジしませんか?老若男女、お子さん連れ歓迎!!

参加申し込みは QR コードから

あなたも組合に！
障教組に！

障教組より ～　みなさんにお願いしたい 『３つのこと』

1　組合費を払って障教組の活動を支えてほしい！
2　情報を受け取り、自分で考え判断する力をつけてほしい！
3　仲間とつながり、職場や仕事で「おかしい」と思ったら声を上げてほしい！

元気に楽しく働き続けるために、あなたとあなたの目の前の子どもを守るために、組合に入ろう！生きづらい時代をみんなでつながって歩んでいこう！

※ご加入の申し込みは、職場の組合員(『おはよ』を配っている人)や、高教組本部へ。